

4

月1日から消費税率が5%から8%に引き上げられた。増税の背景には、

GDP比で200%超にも達した政府債務や、歳出の半分を財政赤字で賄う厳しい財政事情がある。財政再建には、さらなる増税や社会保障費の抑制が不可避であるが、国の予算の中身を正しく把握することも重要だ。

国の予算という場合、本来は一般会計予算、特別会計予算、政府関係機関予算の合計を指すが、一般的にメディアでは、一般会計の歳出総額のみが報道されることが多い。

この理由は、国の予算の流れが複雑で、一般会計、特別会計、政府関係機関予算の相互関係を詳細に把握することが容易ではないからだろう。例えば、一般会計から特別会計や政府関係機関予算に対してはさまざまな財源の繰り入れが行われており、特別会計や政府関係機関予算から一般会計にも事業で発生した利益などの繰り入れが行われている。また、特別会計は、一般会計のみでなく、他の特別会計とも相互繰り入れを行って

国債費と社会保障で7割 一般会計からは見えない “本当の” 予算の中身

数字は語る	法政大学経済学部 准教授
	小黒一正

239.4兆円

本当の国の予算

2014年度の一般会計予算、特別会計予算、政府関係機関予算の歳出純計

いる。

しかし、財務省は、各会計予算の歳出・歳入を単純に合計した「総計」だけでなく、総額から会計間取引の重複分を除いた予算の「純計」を公表している。2014年度における国の予算（一般会計＋特別会計＋政府関係機関予算）の歳出純計は約239兆円で、一般会計と特別会計の歳出純計は約237兆円である。

後者の歳出純計で最も大きな比重を占めているのは「国債費」約91兆円で、全体の約4割が借金返済に回っている。次は、33%を占める「社会保障関係費」(約78兆円)であり、8%の「地方交付税交付金等」(約19兆円)、7%の「財政投融资」(約17兆円)が続く。

国債費と社会保障関係費が一般会計の歳出(約95兆円)に占める割合は5割程度にすぎないが、両経費が一般会計と特別会計の歳出純計(237兆円)に占める割合は約7割にも及ぶという現状はあまり認識されていない。政府債務や社会保障予算の膨張をどう制御するのか、正しい認識に基づき、改革が進むことが望まれる。